

## 令和2年度 部局経営方針

部局名	総務部	部局長名	田中 藤男		
部局の経営資源	職員数 (人)	現計予算額 (千円)		令和2年度中に策定した計画 (根拠法令等)	
	正職員	39	一般会計 (人件費・公債費・予備費を除く)	534,378	第2次日向市行財政改革大綱
	再任用職員	3	特別会計	0	日向市地域防災計画(災害対策基本法) 改訂版の印刷
	会計年度任用職員	1	前年度繰越額(千円)		日向市公共施設等総合管理計画(平成28年度策定)の見直し
			一般会計	14,000	公文書作成マニュアルの更新
		特別会計	0	日向市国土強靱化地域計画(強くなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法)	
総合計画に基づく部局の経営戦略	<p>■基本目標</p> <p>1 今後ますます厳しさが見込まれる財政状況の中、第2次総合計画の下、継続して安定した行政サービスを提供していくため、効果的・効率的な公共施設の維持管理や職員の人材育成を図りながら、行財政改革大綱に基づく中長期的な視点に立った行財政運営に努めます。</p> <p>2 防災基盤の整備と地域防災力の強化を進め、「自助・共助・公助」による防災体制の充実を目指します。</p> <p>3 市民の健康増進やスポーツ活動の拠点となる総合体育館の整備を推進します。</p>				
	<p>■目標達成に向けた取組</p> <p>1 「行財政改革大綱」に基づき、以下の取組を進めます。</p> <p>(1)効果的・効率的な行政経営の推進</p> <p>①各課と連携・協力して行政経営システムの充実強化を図り、経営的視点に立った事務事業の見直し、補助金制度の適正な運用、第三セクター等の経営健全化に向けて取り組みます。</p> <p>②「日向市公共施設等総合管理計画」に基づき、安全・安心の確保、総量の最適化、ライフサイクルコストの縮減に向けて公共施設マネジメントを推進します。</p> <p>(2)未来につなげる財政運営</p> <p>①経済の状況や国県の動向把握に努めるとともに、決算データの精緻な分析を行うことで、中期財政見通しの精度を高め、翌年度予算編成における市債の計画的な発行や基金の適正な運用など財政基盤の強化を図ります。</p> <p>②統一的な基準による財務書類により、市の資産や債務状況を的確に把握し、財政の透明性を高めるとともに、予算編成などへの活用を図ります。</p> <p>(3)市民に信頼される行政サービスの提供</p> <p>将来にわたって質の高い行政サービスを維持するため、「日向市人材育成基本方針」に基づき、職員の人材育成を推進するとともに、組織力の強化を図ります。</p> <p>2 風水害や地震・津波被害から住民を守るため、ハード・ソフト両面から防災対策への取組を行います。</p> <p>(1)防災体制の充実</p> <p>①「米の山中継局」の耐震化により防災情報通信ネットワークの強化を図るとともに、防災備蓄倉庫の整備により分散備蓄と備蓄量の拡充を図ります。</p> <p>②防災ハザードマップと、Web版防災ハザードマップの周知に努め、マイハザードマップづくりを推進し、災害時の早期避難につなげられるような支援を行います。</p> <p>また、避難所での新型コロナウイルス感染症予防のため、避難所運営マニュアルの感染症予防の分野を見直します。</p> <p>③災害時の情報発信の多重化のため、「防災情報配信サービス」の登録者増を図ります。</p> <p>3 総合体育館の整備に向け、「日向市総合体育館整備基本構想」に基づき、PFI等手法の導入の検討や基本計画の策定に向けて取り組みます。</p>				
	<p>■目標達成に向けた組織運営</p> <p>職員一人ひとりが常に経営方針を意識して業務に取り組むとともに、リスク管理意識を徹底します。また、業務遂行にあたっては、組織の一員として仕事をしていることを意識し、チームワーク、信頼関係、協調性を大切にしながら、計画的に仕事を進めます。</p>				

## 【成果と課題】

## 1 「行財政改革大綱」に基づく取組

## (1) 効果的・効率的な行政経営の推進

① コロナ禍により、事務事業の見直しは、各課の成果説明書の作成による一次評価のみを実施し、その結果を次年度予算へ反映させました。また、効果的・効率的かつ適正な補助金の運用を図るため、「日向市補助金交付ガイドライン」を取りまとめるとともに、第三セクターについては、株式会社日向サンパーク温泉の経営形態の抜本的な見直しを行いました。

今後も、行政経営システムの更なる充実強化により、部局経営方針の進捗管理、事務事業評価及び予算編成を連動させながら、人・もの・金といった経営資源の効果的・効率的な活用と「選択と集中」による行財政運営が必要です。

② 旧農村シルバーセンターの売却や旧坪谷中学校の貸付を行ったほか、全ての建物系施設について個別施設計画を策定しました。また、電気料金の削減のため、引き続き庁舎ほか11施設の電力入札を行い、小中学校15校についても新たに電力入札を導入しました。今後も、「日向市公共施設等総合管理計画」に基づき、総合的かつ計画的なマネジメントに着実に取り組んでいきます。

## (2) 未来につなげる財政運営

① 市債については、新規発行額を元金償還額以下に抑制することで、市債現在高の圧縮を図ることができました。また、コロナ禍への対応のため、多額の基金の取り崩しが見込まれていましたが、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用等により、最終的な取り崩しの抑制につながりました。

人口減少、少子高齢化の進行、公共施設の老朽化対策等、中期財政見直しにおいても多額の財源不足が見込まれる中、コロナ禍への対応も加わり、非常に厳しい財政状況が続くことが想定されるため、「第2次日向市行財政改革大綱」に基づく各種取組を着実に推進する必要があります。

② 統一的な基準による財務書類を作成し、令和3年3月議会への報告とあわせて市ホームページで公表するとともに、財務書類の主な指標について、国が取りまとめたデータ等を活用しながら、類似団体との比較・分析を行い、事業の見直し等への活用方法に関する検討を進めました。

引き続き、施設別のセグメント分析の手法等に関する検討を進め、コスト縮減等の見直しや予算編成への具体的な活用を図ります。

## (3) 市民に信頼される行政サービスの提供

ハラスメント、人事評価制度など各種の研修を開催しました。研修受講者の満足度は、98.1%と非常に高くなっています。

業務の多忙化、新型コロナウイルス感染予防の観点から、今後は、e-ラーニングやオンライン研修を増やすなど、より受講しやすい環境を構築する必要があります。

## 2 防災対策の取組

## (1) 防災体制の充実

① 「米の山中継局」の耐震化を行うことで、災害時における同報系防災行政無線による情報伝達手段の機能確保に努めました。また、避難者への迅速な物資の供給を行うため、備蓄倉庫を整備し分散備蓄を図っていきます。

② 自主防災会と連携し、WEB版ハザードマップを活用したマイハザードマップづくりを推進することで、災害時における早期避難の啓発を行いました。

また、避難所運営マニュアル別冊「新型コロナウイルス感染拡大防止編」の作成及び感染症予防に係る備蓄物資の整備を図り、避難所での感染症対策を講じました。

③ 地域や事業所等が実施する防災訓練・講座の機会を利用し、「防災情報配信サービス」について周知することで登録者増に努めました。

## 3 総合体育館整備の取組

コロナ禍により「日向市総合体育館整備基本構想」に関する市民アンケート調査の実施に至りませんでした。また、新型コロナウイルス関連の経済対策や東郷診療所の整備を優先することなどにより、全体の整備スケジュールを1年延期することとしました。

PFI等導入可能性調査については、民間事業者の参入可能性調査や事業評価等により、従来手法と比較し、市民サービスの向上や財政負担の軽減効果等が見込めることから、PFI等手法による施設整備の優位性が高いことが確認されました。

今後も、市民生活や地域経済の状況を見極めつつ、「基本計画」策定の中で、コスト縮減策や事業手法等について慎重に検討する必要があります。

# 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

( 総務部 )

重点戦略								
重点プロジェクト								
基本 目標	施 策	具体的な施策	予算事業名	所管課	令和2年度の主な取組内容	進捗状況	取組結果	成果説明書頁数

<b>【重点戦略3】 笑顔で暮らせるまちづくり戦略 若者も安心して住み続けられるまちをつくります。</b>								
<b>3-1 住み良さ100%“快適なまちづくり”プロジェクト</b>					令和2年度の主な取組内容	進捗状況	取組結果	成果説明書頁数
4 生活 環境	4-2 防災体制の 充実	②災害に強 いまちづくり	地震・津 波防災施 設整備事 業	防災推 進課	<p>[取組内容] 南海トラフ巨大地震の津波被害から住民を守るため、避難山の附帯設備を整備します。</p> <p>[上半期] 避難山(松原)附帯設備の完成</p>	計画どおり	避難山(松原)附帯設備の整備が完了し、防災機能の強化が図られました。	65
6 地域 経営	6-4 効果的・効 率的な行政 経営の推進	③公共施設 の最適化と 適切な管理	公共施設 マネジメント推進 事業	資産経 営課	<p>[取組内容] 引き続き、廃校施設の利活用に取り組むとともに、老朽化が著しい施設や利用が少ない施設等について、個別施設計画に基づく集約・複合化を含めた統廃合や維持管理の見直し等に関する検討を進めます。 また、適切な維持管理や計画的な改修・更新等を実現するため、点検・評価や優先順位の設定に基づく対策の実施等の総合的なメンテナンスサイクルの構築を目指した調査研究に取り組みます。</p> <p>[上半期] 統廃合・処分(貸付・売却・解体等)に関する方針決定2件 [下半期] 統廃合・処分(貸付・売却・解体等)に関する方針決定2件</p>	遅れ	<p>旧農村シルバーセンターの売却(R2.6)、旧坪谷中学校の貸付(R2.10)により、利活用・処分を行いました。目標の件数には届きませんでした。 その他、細島地区コミュニティセンター、旧岩脇中学校の利活用・処分について地元との協議を継続するとともに、福祉施設や東郷地域の施設のあり方についての検討を進めました。 また、公共施設の適切な維持管理や計画的な改修・更新を実現するため、体制の整備と関係予算の確保等に向けた調査研究に取り組みました。</p>	67
<b>3-2 笑顔で暮らせる“健康長寿・スポーツ推進”プロジェクト</b>					令和2年度の主な取組内容	進捗状況	取組結果	成果説明書頁数
1 教育 文化	①スポーツ 指導者・団 体等の支援	④体育施設 の整備と活 用	日向市総 合体育館 整備事業	資産経 営課	<p>[取組内容] 整備後の施設の維持管理や運営までを見据え、市民サービスの向上やコスト縮減を図る手法としてのPFI等導入可能性調査を進めるとともに、「基本計画」の策定に向けた基礎調査に取り組みます。</p> <p>[上半期] PFI等導入可能性調査の実施 [下半期] 「基本計画」の策定に向けた市民アンケート調査等の実施</p>	遅れ	<p>PFI等導入可能性調査については、民間事業者へのアンケート調査やヒアリング、定量的評価(VFMの算出)等を行い、従来手法と比較した結果、PFI等手法の優位性が高いことがわかりました。 市民アンケートについては、実施時期を検討していましたが、コロナ禍により年度内の調査には至りませんでした。</p>	68

その他に取組む重点事業

( 総務部 )

基本目標	施策	具体的な施策	予算事業名	所管課	令和2年度の主な取組内容	進捗状況	取組結果	成果説明書頁数
1 教育文化	1-8 人権・平和 の尊重	③平和教育・啓発活動の推進	平和推進事業	総務課	<p>[取組内容] 戦争の悲惨さや平和の尊さについて啓発活動を行い、子どもたちをはじめ市民の平和意識の高揚を図ります。</p> <p>[上半期] 原爆写真パネル展の開催 広島・長崎への原爆投下日や終戦記念日におけるサイレン吹鳴</p>	その他	8月6日(広島原爆の日)、9日(長崎原爆の日)、15日(終戦の日)にサイレン吹鳴を行いました。被爆体験講話、ピースフォーラムへの参加、原爆写真パネル展については、コロナ禍により実施できませんでした。	51
4 生活環境	4-2 防災体制の 充実	①災害予防 対策の推進	防災計画 等策定事業	防災推 進課	<p>[取組内容] 自主防災会連絡協議会と連携し、計画策定に向けた支援等に取り組めます。</p> <p>[上半期] 地域の防災講座などにおいて、地区防災計画策定の入口となる、マイハザードマップづくりから啓発します。</p> <p>[下半期] 地域の防災講座などにおいて、地区防災計画策定の入口となる、マイハザードマップづくりから啓発します。</p>	計画どおり	自主防災会主催の訓練や防災講座において、WEB版ハザードマップ等を活用し、マイハザードマップについて周知を行いました。	60
			防災情報 収集・伝 達事業	防災推 進課	<p>[取組内容] 情報伝達多重化のため、引続き訓練等において、チラシ配布により登録者の増加につなげます。</p> <p>[上半期] 登録者増を図るとともに、災害時には、システムを用いた情報発信により、早めの避難を促します。</p> <p>[下半期] 登録者増を図るとともに、災害時には、システムを用いた情報発信により、早めの避難を促します。</p>	計画どおり	地域や学校、事業所で実施する訓練や防災講座において、「日向市防災情報配信サービス」の周知を行い、登録者の増加に努めました。	62

4 生活環境	4-2 防災体制の 充実	①災害予防 対策の推進	災害予防 対策事業	防災推 進課	<p>[取組内容] 自宅や職場付近にどのようなリスクがあるかを把握し、状況に応じた災害対応の意識の向上を図ります。</p> <p>[上半期] 防災訓練等でハザードマップの周知とWEB版の使用 方法について周知します。</p> <p>[下半期] 防災訓練等でハザードマップの周知とWEB版の使用 方法について周知します。</p>	計画どおり	<p>土砂災害警戒区域や指定避難所等の最新情報を日向市WEB版ハザードマップに掲載しました。</p> <p>また、地域や学校、事業所で実施する訓練や防災講座において、災害リスクや避難行動についての意識啓発を図りました。</p>	59
6 地域経営	6-3 市民に信頼 される行政 サービスの 提供	②市民に信 頼される職 員の育成	人事評価 制度推進 事業  職員研修 事業	職員課	<p>[取組内容] 公平公正な人事評価と納得度の高い制度を目指し、一層の評価者研修の充実を図ります。また、評価結果を人材育成に反映する仕組みについて、検討します。 人材育成を目的とし、各種研修の充実を図ります。</p> <p>[上半期] ハラスメント研修の実施</p> <p>[下半期] 人事評価制度評価者研修の実施 人事評価制度被評価者研修の実施 人事評価制度の運用状況の確認及びそれに伴う見直し</p> <p>民間企業派遣研修の実施</p> <p>[通年] 各種研修の受講(市町村職員研修センター、市町村アカデミーほか) 職員施策研究の実施</p>	計画どおり	<p>ハラスメント研修を行いました。</p> <p>人事評価に係る研修を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人事評価制度評価者研修 1回</li> <li>・人事評価制度被評価者研修 1回</li> </ul> <p>人事評価制度の確認及び見直しのため、職員アンケートを行いました。また、庁内の検討委員会を2回開催しました。</p> <p>民間企業派遣研修として、入庁3年目の職員6名を3日間派遣しました。また、スキルの定着のため、事後研修を1回行いました。</p> <p>市外で開催される研修については、コロナ禍により中止されたものが多く、県外への研修には参加できない状況がありました。</p> <p>職員施策研究グループ(5人)を発足し、課題研究を行いました。</p>	57・58

[様式1-4]

## 行財政改革大綱に基づく行動計画

( 総務部 )

大区分	中区分	小区分 (実施項目)	所管課	令和2年度の主な取組内容	進捗状況	取組結果
1. 地域経営の推進	2. 市民サービスの充実	3. 窓口サービスの充実	職員課	<p>[取組内容] 定期的に窓口サービス向上委員会を開催し、引き続き、総合案内やお悔み窓口等の窓口サービスの充実について検討します。</p> <p>[上半期] 窓口サービス向上委員会の開催</p> <p>[下半期] 窓口サービス向上委員会の開催</p>	遅れ	窓口サービス向上委員会は開催できませんでしたが、マイナンバーカードに係る窓口の充実や新たな係の設置に取り組みました。
2. 効率的な行政経営の確立	1. 積極的かつ効果的な民間活力の導入	7. 積極的かつ効果的な民間委託の推進	職員課	<p>[取組内容] 業務の必要性や効果等を検証しながら、民間活力の導入について、引き続き、検討します。</p> <p>[上半期] 業務ヒアリングによる対象事業の調査</p> <p>[下半期] 調査に基づく検討</p>	遅れ	4月から一般ごみ収集運搬業務を全面民間委託しました。 また、業務ヒアリングを実施し、民間委託等の検討を要する業務の把握は行いましたが、その詳細な検討には至りませんでした。
2. 効率的な行政経営の確立		9. 指定管理者制度の推進	職員課	<p>[取組内容] 前年度のモニタリング調査を実施し、その結果を公表します。 また、9施設において、指定期間満了に伴う指定管理者の選定に係る手続きを行います。</p> <p>[上半期] モニタリング調査及び結果の公表 指定管理者候補者の公募</p> <p>[下半期] 指定管理者の選定・決定</p>	計画どおり	前年度のモニタリング調査を実施し、その結果を公表しました。 また、9施設において、指定期間満了に伴う指定管理者の選定に係る手続きを行いました。 日向サンパーク温泉施設については、10月から休館とし、これまでの指定管理者による管理運営を終了しました。

2. 効率的な行政経営の確立	2. 簡素で効率的な組織の運営	10. 行政経営システムの充実	財政課	<p>[取組内容] 行財政改革大綱の着実な実施と進行管理により、行政経営システムの充実強化に取り組みます。</p> <p>①部局経営方針の策定・公表(4月)、中間報告(11月)の実施による重点プロジェクト等、総合計画の進行管理 ②次年度予算編成に向けた調査(7月～9月)の実施による事業の取捨選択 ③行政経営推進会議による事務事業2次評価(7月～)の実施による行政評価制度の機能充実</p>	計画どおり	部局経営方針については、4月の策定・公表や11月の中間報告を通して、総合計画に関する事業や行財政改革大綱に基づく取組の進捗状況等を全庁的に共有しながら、進行管理を行いました。事務事業の見直しについては、各部局において、成果説明書の作成による評価対象事業の分析とともに、「第2次向市総合計画・後期基本計画」のスタートに向けて、予算編成段階での必要な見直しなどに取り組みました。
		11. 組織編制、機構の見直し	職員課	<p>[取組内容] 業務ヒアリング等により、課題を集約し、横断的な組織の連携強化や簡素で効率的な組織の見直しを行います。</p> <p>[上半期] 業務ヒアリングの実施 [下半期] 行政改革推進本部会や専門委員会での検討・見直し</p>	計画どおり	<p>新型コロナウイルス感染症対策を行う室や係の設置に取り組みました。</p> <p>また、業務ヒアリング等を反映した組織改編に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康福祉部の改編</li> <li>・教育委員会事務局の改編</li> <li>・ブランド推進課の改編</li> <li>・新たな室・係の設置 など</li> </ul>
		14. 事務事業の効率化	職員課	<p>[取組内容] 煩雑化や増加する事務事業の効率化を図るために、事務事業の見直しによる統廃合や事務処理手順の見直しを行います。</p> <p>[上半期] 業務ヒアリングの実施 [下半期] ヒアリング結果に基づく見直し</p>	計画どおり	<p>観光交流課と東郷地域振興課で行っている株式会社東郷町ふるさと公社に係る業務を観光交流課に一元化することで調整を行いました。</p> <p>総合政策課と市民課で行っているマイナンバーカードに係る業務について、業務分担の明確化を図りました。</p>
		15. 組織力の強化	職員課	<p>[取組内容] 報告・連絡・相談の徹底を図るため職場ミーティングの充実を図り、意見の言いやすい雰囲気作りや、業務の進捗状況、課題等の共有化を図る取組を進めます。</p> <p>[上半期] メンター制度の実施 期首面談の実施 [下半期] クライシスコミュニケーション研修 期末面談の実施</p>	計画どおり	<p>新規採用職員(23人)にメンターを設定しました。メンター期間終了後は記録書を提出してもらい、状況の確認を行いました。</p> <p>危機対応コミュニケーション研修を開催し、50人が受講しました。</p> <p>人事評価期首・期末面談の適切な実施について、文書等での周知を行いました。</p> <p>定型的な業務のマニュアルの整理やチェックリストによる確認作業等について、周知徹底に取り組みました。</p>

2. 効率的な行政経営の確立	2. 簡素で効率的な組織の運営	16. 文書管理の適正化	総務課	<p>[取組内容] ファイリングシステムを徹底し、文書の適正な保存に努めます。また、書庫以外の場所に保管している文書の把握、整理について検討を進めます。</p> <p>[上半期] 文書庫内の点検 機密文書シュレッダー処理 文書廃棄処理</p> <p>[下半期] 書庫以外の場所に保管している文書の把握、整理等の検討</p>	計画どおり	<p>5月14～26日の期間に文書庫内点検、廃棄処理の作業を行いました。</p> <p>・5月25日 シュレッダー処理 10月に東郷総合支所に保管している文書の調査を実施しました。</p>
	3. 人材の育成・活用	17. 職員の意識改革	職員課	<p>[取組内容] 社会状況の変化に応じて、職員や職場のニーズにあった研修を実施するとともに、職員の自主研修活動の積極的な支援を行います。</p> <p>[上半期] 職員提案制度の提案募集 職員施策研究の実施 職員自主研修の支援 出前研修制度を活用した各種の研修を実施</p> <p>[下半期] 職員施策研究の実施 職員自主研修の支援 民間企業派遣研修</p>	計画どおり	<p>職員提案制度の募集を行いました。</p> <p>職員自主研究として、4件のグループ・個人に対する支援を行いました。</p> <p>出前研修制度による研修を2回開催し、延べ90人が参加しました。</p> <p>民間企業派遣研修として、入庁3年目の職員6名を3日間派遣しました。</p> <p>職員施策研究グループを発足し、「LoGoチャット」をテーマとした課題研究を行いました。</p>
		18. 災害に対する職員対応能力の強化	防災推進課	<p>[取組内容] 避難所担当説明会において、「避難所運営マニュアル」を周知し、感染症対策と合わせて災害時の運用を図ります。</p> <p>[上半期] 「新型コロナウイルスにおける避難場所(避難所)対応基本方針」を策定し、避難所担当職員に対し、説明会を行い、周知します。「避難所運営マニュアル」及び「基本方針」に基づいた避難所運営を行います。</p> <p>[下半期] 「避難所運営マニュアル」及び「基本方針」に基づいた避難所運営を行います。</p>	計画どおり	<p>全職員を対象とした情報伝達訓練を実施しました。</p> <p>日向市避難所運営マニュアル(新型コロナウイルス感染拡大防止編)を作成しました。</p> <p>避難所担当者説明会や避難所運営訓練を開催しました。</p> <p>台風による災害が予想される場合には、早期に避難所を開設するとともに、避難所運営マニュアル等に基づく、避難所運営を行いました。</p>
		19. 女性職員が活躍する職場環境づくりの推進	職員課	<p>[取組内容] 組織全体で継続的に女性職員の活躍を推進するため、「日向市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画」に基づき係長以上における女性職員の割合の増加を図ります。</p> <p>[上半期] 各種研修への参加</p> <p>[下半期] 各種研修への参加</p>	計画どおり	<p>「日向市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画」の改定に取り組みました。</p> <p>女性職員の更なる活躍のため、様々なスキルアップ等の研修への派遣を推進しました。</p> <p>・外部研修への女性職員参加者154人(全体459人中、33.55%) ・係長以上における女性職員の割合 令和元年度実績 24.46% 令和2年度実績 27.27%</p>



2. 効率的な行政経営の確立	3. 人材の育成・活用	20. 多様な任用形態による人材の活用	職員課	<p>[取組内容] 業務内容や専門性に応じて適材適所の配置を行います。</p> <p>[上半期] 業務ヒアリングの実施 会計年度任用職員制度の諸課題の整理</p> <p>[下半期] ヒアリング結果に基づく次年度以降に向けた検討</p>	計画どおり	<p>上半期の業務ヒアリングをはじめ、各種ヒアリングの機会を通じて現状を把握し、適材適所の職員配置を実施するとともに、国や県の補助制度等も活用しながら、任期付職員や会計年度任用職員の配置を行いました。</p>
		21. 人事評価制度の適正な運用	職員課	<p>[取組内容] 納得度の高い評価制度を目指し、一層の評価者研修の充実を図ります。また、職員アンケートを分析し評価結果を人材育成に反映する仕組みについて、検討します。</p> <p>[下半期] 評価者研修の実施 被評価者研修の実施 アンケートの実施、制度の見直し</p>	計画どおり	<p>人事評価に係る研修を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人事評価制度評価者研修 1回</li> <li>・人事評価制度被評価者研修 1回</li> </ul> <p>人事評価制度の確認及び見直しのため、職員アンケートを行いました。また、庁内の検討委員会を2回開催しました。</p>
	4. 定員管理・給与の適正化	22. 時間外勤務の縮減	職員課	<p>[取組内容] 長時間労働の是正へ向けて、ノー残業デーの周知・徹底を行い、時間外勤務の縮減に取り組めます。</p> <p>[上半期] 時間外勤務実施状況の適切な把握及び分析</p> <p>[下半期] 分析結果による時間外勤務の縮減対応策の実施</p>	遅れ	<p>時間外申請事務手続きの周知・徹底を図り、実施状況の適切な把握に努めました。</p> <p>前年度に引き続き、ノー残業デーを実施して時間外勤務の縮減を図りました。各課の時間外勤務の実施状況は把握できたものの、詳細な要因分析及び縮減対応策の実施までには至りませんでした。</p> <p>(実績)時間外勤務実績 前年度比 2%減</p>
		23. 職員給与等の適正化	職員課	<p>[取組内容] 国・県の動向や社会経済情勢の変化を踏まえ、ラスパイルス指数の改善など給与制度の適正化に取り組めます。</p> <p>[上半期] 給与小委員会等での給与制度適正化に向けた協議</p> <p>[下半期] 協議結果に基づく給与制度適正化に向けた関係条例等の改正</p>	計画どおり	<p>国・県の動向や社会経済情勢の変化を踏まえて、人事院勧告に伴う条例改正を実施するとともに、ラスパイルス指数の改善策に係る給与制度の適正化を実施しました。</p> <p>また、広報紙や市ホームページにおいて、職員給与等の公表を行いました。</p>

2. 効率的な行政経営の確立	4. 定員管理・給与の適正化	24. 定員管理の適正化	職員課	<p>[取組内容] 多様な任用形態による人材の活用や事務事業の見直し等により、適正な定員管理に取り組みます。</p> <p>[上半期] 業務ヒアリングの実施</p> <p>[下半期] ヒアリング等による適切な人員配置 会計年度任用職員制度の活用</p>	計画どおり	<p>業務ヒアリングや組織改編の検討において、各職場が必要とする人員や人材を把握し、多様な任用形態による人材の活用に努めることにより、職員数の適正化に取り組みました。</p> <p>また、今後予定している東郷分遣所への救急車配備に伴い、職員定数条例を改正しました。</p>
	1. 経営視点に立った財政運営	25. 地方公会計制度の推進	財政課	<p>[取組内容] 将来世代負担などの財務情報を明らかにし、適切に説明責任を履行します。また、使用料等の適正化や行政評価との連携など財務書類から得られるデータの活用、財政指標(目標値)の設定などの検討を引き続き進めます。</p> <p>[上半期] 一般会計等に係る財務書類の作成</p> <p>[下半期] 連結財務書類の作成・公表 市民に分かりやすい公表方法の検討 セグメント分析その他活用事例の調査・研究</p>	計画どおり	<p>令和元年度決算に係る財務書類の作成及び活用に向けた会議を開催しながら、統一的な基準による一般会計等、全体及び連結財務書類を作成し、令和3年3月議会で報告するとともに、市ホームページで公表しました。</p> <p>また、財務書類の主な指標について、類似団体との比較・分析を行い、事業の見直し等の効果的な活用に向けた取組を進めました。</p>
		26. 公共施設マネジメントの推進	資産経営課	<p>[取組内容] 引き続き、廃校施設の利活用に取り組むとともに、老朽化が著しい施設や利用が少ない施設等について、個別施設計画に基づく集約・複合化を含めた統廃合や維持管理の見直し等に関する検討を進めます。</p> <p>また、適切な維持管理や計画的な改修・更新等を実現するため、点検・評価や優先順位の設定に基づく対策の実施等の総合的なメンテナンスサイクルの構築を目指した調査研究に取り組みます。</p> <p>[上半期] 統廃合・処分(貸付・売却・解体等)に関する方針決定2件</p> <p>[下半期] 統廃合・処分(貸付・売却・解体等)に関する方針決定2件</p>	遅れ	<p>旧農村シルバーセンターの売却(R2.6)、旧坪谷中学校の貸付(R2.10)により、利活用・処分を行いました。目標の件数には届きませんでした。</p> <p>その他、細島地区コミュニティセンター、旧岩脇中学校の利活用・処分の地元との協議を継続するとともに、福祉施設や東郷地域の施設のあり方についての検討を進めました。</p> <p>また、公共施設の適切な維持管理や計画的な改修・更新を実現するため、体制の整備と関係予算の確保等に向けた調査研究に取り組みました。</p>

2. 効率的な行政経営の確立	1. 経営視点に立った財政運営	27. 使用料・手数料の見直し	財政課	<p>[取組内容] 行財政改革大綱の計画期間に一定の成果が得られるよう、使用料・手数料の受益と負担の適正化、公平性の確保に取り組めます。</p> <p>[通年] 財務書類の活用その他使用料等の見直しに向けた調査・研究 庁内組織において必要と認める事業・施設について、成果評価及び次年度予算編成に向けた見直し</p>	遅れ	<p>予算編成説明会等の場を活用しながら、受益と負担の適正化、公平性の確保に視点をおいた使用料・手数料の見直しに係る職員の意識の向上を図りました。</p> <p>また、一部の施設における新たな使用料について検討しましたが、具体化するまでには至りませんでした。</p>
		28. 第三セクターの経営健全化	財政課	<p>[取組内容] 「第三セクター等経営検討委員会」による経営状況等の点検・評価及び指導を行うとともに、経営健全化方針に基づき、行政として適切に関与しながら、公的支援の適正化と財政的リスクの低減に努めます。</p> <p>[上半期] 令和元年度決算に係る経営状況の点検・評価 [下半期] 点検評価報告書の公表</p>	計画どおり	<p>株式会社日向サンパーク温泉、公益財団法人日向文化振興事業団、株式会社東郷町ふるさと公社の3法人については、経営改革を進めるための経営健全化方針を令和2年11月に改定し公表しました。</p> <p>また、以前から債務超過の解消が課題となっていました「株式会社日向サンパーク温泉」について、経営形態の抜本的な見直しを行いました。</p>
	2. 自主財源等の歳入確保	32. 広告掲載事業の拡充	財政課	<p>[取組内容] 自主財源確保のため、ぶらっとバスや市ホームページバナー広告料等の拡充を図るとともに、新たな広告媒体の活用を推進します。</p> <p>[通年] 予算執行説明会・予算編成説明会等の場を活用した、新たな自主財源確保に向けた全庁的な意識の向上</p>	計画どおり	<p>前年度に引き続き、市ホームページバナーやコミュニティバスなど、市が保有する財産を活用した広告掲載の拡大に努めるとともに、予算執行説明会や予算編成説明会等の場を活用しながら、新たな自主財源確保に向けた全庁的な意識の向上を図りました。</p>
3. 持続可能な財政基盤の強化	3. 不断の歳出改革と将来負担の軽減	35. 財政指標の改善	財政課	<p>[取組内容] 中長期的な視点に立った健全な財政運営を行い、財政指標の改善に努めます。</p> <p>[上半期] 前年度決算に基づく財政状況の精緻な把握 [下半期] 財政健全化に向けた次年度予算編成</p>	計画どおり	<p>コロナ禍への対応のため、歳出が大きく増加したものの、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用や経常的な事業・イベントの中止等により、経常収支比率は昨年度と同水準になりました。</p> <p>実質公債費比率及び将来負担比率については、それぞれ昨年度より改善しました。</p>

3. 持続可能な財政 基盤の強化	3. 不断の 歳出改革と 将来負担の 軽減	36. 市債残 高の圧縮	財政課	<p>[取組内容] 中長期的な視点に立った財政健全化を図るため、計画的な市債発行を図り、市債残高の減少に努めます。</p> <p>[上半期] 前年度決算見込みと市債残高を考慮した適切な市債の発行</p> <p>[下半期] 次年度予算編成における市債発行の抑制</p>	計画どおり	細島小学校改築事業に係る市債発行があったものの、全体としては、元金償還額以下の新規発行となったことから、市債残高は減少しました。
		37. 基金の 計画的な活 用	財政課	<p>[取組内容] 安定した市民サービスの提供と持続可能な財政運営の両立を図るため、一定の基金残高を保つよう留意しながら、計画的な基金運用を図ります。</p> <p>[上半期] コロナ禍による緊急経済対策等の財源確保を考慮した基金運用に努めます。</p> <p>[下半期] 基金繰入に依存しない次年度予算編成</p>	計画どおり	コロナ禍への対応のため、多額の基金取り崩しが見込まれたものの、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用等により、最終的には財政調整積立基金やその他特定目的基金の取り崩しを抑制することができました。
		38. 補助金 制度の適正 な運用	財政課	<p>[取組内容] 補助金制度を効果的・効率的かつ適正に運用するとともに、必要性や妥当性などが低いと認められる補助事業について縮小・廃止を含めた見直しを行います。</p> <p>[上半期] 補助金交付制度の基準見直し、補助事業現況調査庁内組織における補助事業の評価、見直し</p> <p>[下半期] 次年度予算編成における見直し反映</p>	計画どおり	補助金をより効果的・効率的かつ適正なものにするため、令和2年10月に「日向市補助金交付ガイドライン」を取りまとめ、交付申請等の各段階において前年度繰越金や不用額等の確認を行いながら、補助金交付決定額を調整する等の取組を進めました。

部局経営方針に掲載されていなかった新型コロナ対策事業等の取組

予算事業名	事業内容	進捗状況	取組結果	成果説明書頁数
[新型コロナ対策]電子入札システム導入事業	令和3年度内の電子入札方式導入に向けて、利用システムや諸規程の整備を行う。令和2年度は、主にシステム整備を行う。	計画どおり	電子入札の実施にあたり、本市が利用する予定の宮崎県共同利用型電子入札システム及び日向市財務会計システム（契約部分）の整備を行いました。	440
[新型コロナ対策]雇用維持等緊急対策事業	コロナ禍により廃業・休業・失業等の厳しい環境に置かれている市民の救済、また、感染症対策のための体制拡充のため、市の会計年度任用職員として雇用する	完了	コロナ禍の影響で仕事を失った方、就業困難な状況に陥っている方の救済や、感染症対策のための体制拡充に資するため、緊急雇用維持対策として延べ30人を雇用しました。	440
[新型コロナ対策]防疫対策等事業	9月追加補正 避難所の空調整備及びトイレ洋式化工事(予算24,000千円) 空調整備:日知屋公民館、南日向公民館、牧水公園ふるさとの家 トイレ洋式化:中央公民館、日知屋公民館、農村交流館	完了	令和3年2月完了。	441
[新型コロナ対策]公共施設環境整備事業	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、飛沫防止パネル、手指消毒液等の必要な資材等を購入するもの。	計画どおり	新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、飛沫防止パネル・手指消毒液をはじめとした資材等を購入し、庁舎をはじめとした市内各施設に設置しました。	442